



シオンだより

第83号

就労継続支援B型事業所・ウォームサポートシオン
利用者数:19名（男性17名 女性2名）

新年を迎えてひと月、立春とは名ばかりで、一年でもっとも冷え込む時期です。インフルエンザやノロウィルスなど感染症も流行しやすく、コロナに限らず感染症には気を配りたいところです。

最近のシオンの活動

ごまの唐箕(とうみ)がけをしています。



唐箕がけ機

現在のシオンでは、ごまの唐箕^{とうみ}がけをしています。

唐箕がけとは、ごまだけではなく米や麦といった、穀物全般でおこなう作業で、風の力で中身がしっかり詰まった重い粒を選り分けることです。

この作業をおこなうのは、炒りごまや洗いごまなどといった、ごまを商品にする直前で、ごまの作業も佳境です。

今年は機械を二台使ったので、作業の進みも速く、いまは200～240kg程度まで作業が進んでいます。



唐箕がけの準備。



機械の掃除と動作確認。



ごまの準備。

まず機械を掃除して、からやごみを取り除き、レバーなどの動作確認をします。

唐箕がけするごまは、すでに幾度かふるいをかけたものです。



今年は機械を二台使います。

唐箕がけ開始。



ボウルで投入。

用意したごまを、ボウルを使って、唐箕がけの機械に入れます。

ここから4回ほど唐箕がけをするのですが、ふるいに掛けたとはいっても、どうしてもゴミが混じっています。

なので、最初はごまがスムーズに流れるように、手を使ってかき回してあげないとはいけません。

手でかき回すのは、この最初の1回のみで、あとは機械にまかせます。



最初だけは手も使う必要が。

唐箕がけ中。



飛ばされたからやごみ。



出てきたごま。

唐箕がけをすると、軽いからやごみなどと、中身が詰まっている、重いごまの粒が分離されます。

軽いものはごみなので、廃棄します。そして、重かったごまは、別の容器に集めていきます。

納品。



米袋に詰めて。



重さを計って。



納品します。

唐箕がけが終わったごまは米袋に詰め、20kgに合わせてから納品します。

たまみずきさんが訪れました。



1月8日(月)、シオンと事業所間交流をしている、「放課後等デイサービスたまみずき川越」のみなさんが訪れ、育ててきたサニーレタスなどを収穫していました。

シオンのスケジュール

2月の予定

4	日	イベント:令和5年度「福祉の市」(ウェスタ川越)	22	木	1月分 工賃支給日
12	月	祝日(建国記念の日※振替休日) ※休日開所(午前のみ)	23	金	祝日(天皇誕生日) ※休日開所(午前のみ)
17	土	イベント:学校給食が広げる子どもと地域の未来(やまびき会館ホール)			

定期販売会など
今月の出張販売は、その時の判断となるため、記載しておりません。

※一部の販売会は、新型コロナウイルス感染症予防のため、お休みしております。

「ゆいまーるの庭」さんは休業中です。

シオンに通ってみませんか？



いまのシオンには、利用者さんの受け入れ数に余裕があります。

シオンでする仕事や、農業などにちょっとでも興味があったら、相談から見学・体験まで、いつでも受け付けます。

ホームページあります！

<https://www.warmsupportshion.jp/>



Facebook、
Instagramも
あります



ご寄付のお願い

シオンでは活動の継続発展のため、ご寄付を募っております。
シオンの活動にご協力をいただけるようでしたら、よろしくお願いいたします。

シオンにおける感染症対策について

新型コロナ感染症について、日本の随所で対応が緩和されていくなか、新たな変異株《JN.1》が確認され、流行の第10波が懸念されているようです。

ワクチンは、65歳以上の高齢なかたなどの接種が4月以降に検討されていますが、該当しないかたは有料になる見込みです。

引き続き、手洗い・うがい・消毒など、ご家庭におきましても、感染予防をお願いいたします。

また、コロナはもちろん、季節性インフルエンザやノロウイルス感染症にも注意してください。

今年も流行が確認されています。

シオンでも引き続き、屋外などの措置(※)も含め当面は現状を維持し、利用時は原則マスクの着用をお願いいたします。

※屋外作業等は、距離が確保されていること前提で、マスクを外しても構わない、としています。